



衣浦 晴生 Kinuura Haruo
森林昆虫研究領域

ナラ類やカシ類は秋になるとドングリを突らせる樹木ですが、近年このような樹木が集団的に枯死する現象が発生しています。これは「ナラ枯れ（ブナ科樹木萎凋病）」と呼ばれており、1990年代までは日本海側の府県を中心とした地域で多く発生していましたが、その後被害地域は年々拡大し、2020年にはこれまで被害の少なかった関東地方でも全都県で確認されるに至りました。

ナラ枯れは、カシノナガキクイムシという体長5mm程度の小さな甲虫が、ナラ菌と呼ばれる樹木病原菌を媒介してナラ類やカシ類などの樹木に集中的に加害することで発生します。枯死する樹種は、ミズナラやコナラ、クヌギなどの落葉ナラ類と呼ばれるグループが多いのですが、枯れにくいと言われる常緑樹でも、マテバシイの枯死が三浦半島と房総半島で、スダジイの枯死が東京島嶼部で発生しています。

「ナラ枯れ」とは？ ドングリの木が枯れていく仕組み

被害に対して、カシノナガキクイムシの生態的特徴を利用した様々な防除法や対応策が提案されています。しかしナラ枯れの発生地域は、人が簡単に近づくことができる場所から険しい奥山の森林まで千差万別で、また自然植生や土地利用の歴史などもそれぞれ異なっています。そのため対策としては、そこで何ができるのか様々な条件を総合的に判断することが必要と思われれます。11月開催予定の森林講座では、ドングリの木が枯れていく仕組みについて詳しくお話しします。ご期待ください。（11月10日開催予定）



マテバシイの集団枯死が発生している
林内の状況



カシノナガキクイムシ（メス）

令和5年度 森林講座のお知らせ

多摩森林科学園での実開催とオンラインでの開催を予定しています。
オンライン開催は遠方の方でもご参加いただけますので楽しみに！

会場●多摩森林科学園 森の科学館

時間●13時15分～15時

お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。お申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、講座を中止する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ

〒193-0843 東京都八王子市市川里町1833-81

多摩森林科学園

電話番号:042-661-1121



開催

10月13日(金曜日)

「お宝の山！
今こそ国産広葉樹の出番です」

山下 直子（関西支所）

11月10日(金曜日)

「『ナラ枯れ』とは？
ドングリの木が枯れていく仕組み」

衣浦 晴生（森林昆虫研究領域）

12月8日(金曜日)

「海辺の森林、マングローブ」

小野 賢二（立地環境研究領域）



オンライン開催

1月18日(木曜日)

「ビッグデータで調べる国立公園の
人気スポット」

小黒 芳生（森林植生研究領域）



▲森林講座申込み